

たてばやし

第214号

市議会だより

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

編集：館林市議会報編集委員会



「カラフルな空に羽ばたけ！」
一般応募作品

6月
定例会

館林市税条例の一部を
改正する条例など
10議案が決まりました

市民の皆さまへお願い♥

手洗いや咳エチケットを徹底し
引き続き「3密」を避けるように
してください。



新型コロナウイルス感染症情報はこちら↑

主な掲載記事

- 本会議のあらまし・常任委員会の審査報告 … 2～3ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 …… 4ページ
- 第2回臨時会の審議結果 …… 5ページ
- 一般質問（10人） …… 6～11ページ
- 永年在職議員表彰・議会傍聴のお知らせ …… 12ページ



本会議のあらまし

令和3年館林市議会第2回定例会は、6月4日から21日までの18日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案等は、議案10件、報告2件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、承認、可決されました。

また、議員提出議案1件の審議が行われ、原案のとおり可決されました。

そのほか、定例会最終日には、提出された動議の審議が行われ、賛成少数で否決されました。

人事案件

▽公平委員会委員の選任について
現委員の泉田佳一さん（朝日町）の任期が、本年6月19日をもって満了となるが、引き続き選任したいとして、地方公務員法の規定により、議会に対し同意を求められたもので、選任につき全員一致で同意されました。

条例の改正

▽館林市税条例の一部を改正する条例
地方税法等の一部を改正する法律の施行

に伴い、個人市民税の均等割の非課税限度額について、その基準の判定に用いる扶養親族の範囲を扶養控除の取扱いと同様とするほか、セルフメディケーション税制の延長に伴い、医療費控除の特例の適用年度を延長するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に係る国民健康保険税の減免について、本年度も引き続き実施するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市手数料条例の一部を改正する条例
建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正により、省エネ基準への適合義務制度の対象が中規模の非住宅建築物まで拡大されたことに伴い、その適合性判定等に係る手数料の規定

を追加するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

その他の議案

▽市道7075号線の路線廃止について
開発行為による道路の付替えに伴い、起終点の変更となる路線を廃止しようとするもので、全員一致で可決されました。

専決処分

▽専決処分の承認を求めることについて（館林市税条例等の一部を改正する条例）
地方税法等の一部を改正する法律が本年3月31日に公布されたことに伴い、館林市税条例等の一部を改正する条例を専決処分し、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

補正予算

▽令和3年度館林市一般会計補正予算（第2号）
1億5754万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ295億5017万2000円とするもので、全員一致で可決されました。

報告

▽令和2年度館林市一般会計繰越明許費の繰越報告に



ついでに令和2年度館林市一般会計補正予算（第10号）及び（第11号）において、市史編さん事業712万8000円など合計9億7272万4000円を繰越明許費として設定し、繰越計算書のとおり令和3年度に繰越したことについて、報告されました。

▽令和2年度館林市下水道事業会計予算の繰越報告について令和2年度館林市下水道事業会計予算の建設改良費の2700万円を繰越計算書のとおり令和3年度に繰越したことについて、報告されました。



マンホールの蓋

議員提出議案

▽館林市議会会議規則の一部を改正する規則Ⅱデジタル化政策の一環として押印

廃止を推進するため、請願者に対し提出時に求めている押印について、署名又は記名押印に改めるもので、なお、身体的理由により、請願者が自署できない場合も想定されることから、署名による押印廃止に加え、選択肢として記名押印も可能とするため、本規則の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

市長発言

▽市長発言Ⅱ定例会最終日、6月10日の一般質問において、齊藤貢一議員より「過去の新聞報道の中で、板倉町との合併推進にあたり、板倉町の条件を丸のみする」という記事が掲載されているが、そうした発言をした事実はあるのか」という質問への答弁の内容が、言葉が不足した説明となり、報道機関に対して疑義を抱きかねない結果となったこと、その後の齊藤議員の質問の展開や議会運営に影響を与えたことについての謝罪発言がありました。

動議

▽市長発言等に関する調査特別委員会設置の動議Ⅱ定例会最終日、吉野高史議員より、先日行われた一般質問における市長答弁の真意及び発言の事実関係の調査、また、市長選挙結果や市政への影響を調査するため、地方自治法第100条第1項の権限を付託した特別委員会（百条調査特別委員会）を設置する動議が提出されました。本動議は、所定の賛成者により成立し、その後、議事日程に追加され、審議を行い、採決の結果は、賛成少数で否決されました。

※動議とは

議員が議長にあらかじめ連絡をとらずに、会議において、提議するものです。特別委員会設置の動議のほか、議案に対する修正の動議、懲罰動議、長の不信任の動議などがあります。

常任委員会の審査報告

総務文教

付託された議案は、館林市税条例の一部を改正する条例の1議案で、採決の結果は、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市民福祉

付託された議案は、「館林市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例」館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の2議案で、採決の結果は、2議案とも全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決しました。

経済建設

付託された案件は、議案2件で、まず、「館林市手

数料条例の一部を改正する条例」については、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

次に、「市道7075号線の路線廃止については、路線の現地調査を行った後に審査を行い、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、建築課から「第3期館林市耐震改修促進計画について」の報告がありました。



市道 7075 号線の現地調査

議員個人の賛否結果一覧表 (第2回定例会)

議案等名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果
	議員名	松本隆志	柴田信	平井玲子	今野郷士	川村幸人	齊藤晋一	森田武雄	渋谷理津子	権田昌弘	櫻井正廣	齊藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	向井誠	井野口勝則	小林信	
議案第28号	公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	同意
議案第29号	専決処分の承認を求めることについて(館林市税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	承認
議案第30号	専決処分の承認を求めることについて(館林市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	承認
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度館林市一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	承認
議案第32号	館林市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案決
議案第33号	館林市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	○	●	原案決
議案第34号	館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案決
議案第35号	館林市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案決
議案第36号	市道 7075 号線の路線廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案決
議案第37号	令和3年度館林市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案決
議員提出議案第1号	館林市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案決
動議	市長発言等に関する調査特別委員会設置の動議	●	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	●	○	●	-	●	○	●	原案否決

※野村晴三議長は採決に加わりませんので「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対】

“令和2年度 政務活動費の収支報告”をお知らせします

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、政策に関する調査研究、研修、広報等の活動のために市議会の会派へ交付される費用のことです。

館林市議会では、議員1人当たり年額15万円(月額12,500円×12か月)を当該年度分一括して各会派に交付しています。

各会派より提出されました「収支報告書及び会計帳簿」は、市議会ホームページで公開しています。



令和2年度(令和2年4月~令和3年3月) 交付分を掲載

会派名	所属議員数	交付金額	支出額	残額(返還額)	執行率
緑水クラブ	9人	1,350,000円	734,415円	615,585円	54.40%
虹志会	2人	300,000円	176,012円	123,988円	58.67%
公明党	2人	300,000円	69,439円	230,561円	23.15%
日本共産党館林市議団	2人	300,000円	299,988円	12円	99.99%
館林クラブ	2人	300,000円	300,000円	0円	100.00%
無会派(森田武雄)	1人	150,000円	0円	150,000円	0.00%
計	18人	2,700,000円	1,579,854円	1,120,146円	58.51%

令和3年第2回臨時会の審議結果

令和3年館林市議会第2回臨時会が、7月12日に開かれました。

この臨時会に市長から提案された議案は3件で、審議の結果、いずれも原案のとおり、同意、承認されました。

人事案件

▽副市長の選任について
副市長に野口一幸さん（本町四丁目）を選任したいとして、地方自治法の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。



副市長
野口一幸 さん

▽教育委員会委員の任命について
教育委員会委員の中村研司さんが本年5月7日に逝去されたことに伴い、後任に堀口哲哉さん（羽附町）を任命したいとして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定によ

専決処分

り、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

▽専決処分の承認を求めることについて（令和3年度館林市一般会計補正予算（第3号））
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し生活に困窮する世帯のうち、総合支援金の再貸付が終了するなどにより特例貸付を利用できない世帯に対し支援金を支給する、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業を追加するための補正予算を専決処分し、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

議員個人の賛否結果一覧表（第2回臨時会）

議案名	議席番号 議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果
		松本隆志	柴田 信	平井玲子	今野郷士	川村幸人	齊藤晋一	森田武雄	渋谷理津子	権田昌弘	櫻井正廣	齊藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	向井 誠	井野口勝則	小林 信	
議案第38号 副市長の選任について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	同意
議案第39号 教育委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	同意
議案第40号 専決処分の承認を求めることについて (令和3年度館林市一般会計補正予算)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	承認

※野村晴三議長は採決に加わりませんので「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対】

構成 各委員会

総務文教常任委員会

◎渋谷理津子 ○齊藤晋一

今野郷士 野村晴三

向井 誠 小林 信

市民福祉常任委員会

◎櫻井正廣 ○平井玲子

川村幸人 森田武雄

吉野高史 井野口勝則

経済建設常任委員会

◎齊藤貢一 ○松本隆志

柴田 信 権田昌弘

篠木正明 遠藤重吉

議会運営委員会

◎向井 誠 ○川村幸人

松本隆志 齊藤貢一

篠木正明 吉野高史

遠藤重吉

議会報編集委員会

◎柴田 信 ○今野郷士

平井玲子 川村幸人

櫻井正廣 向井 誠

井野口勝則 小林 信

◎委員長 ○副委員長

市政を問う !!

6月10日

柴田 信 議員 (7ページ)

- 本市の新型コロナウイルスワクチン接種の取組について
- 本市の公共施設におけるフリー Wi-Fi 化の取組について

渋谷理津子 議員 (7ページ)

- 県立館林美術館との連携について○田山花袋記念文学館の展示等について
- 選挙における啓発活動について○本市職員の資質向上について
- 板倉町との合併協議再開について

平井 玲子 議員 (8ページ)

- 福祉用具給付制度について
- 図書館について

松本 隆志 議員 (8ページ)

- 教育行政の課題と取組について

斉藤 貢一 議員 (9ページ)

- 市長の政策について

6月11日

篠木 正明 議員 (9ページ)

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 「5つのチェンジ」とまちづくりについて

向井 誠 議員 (10ページ)

- 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 中央通り線拡幅によるまちなかのにぎわいについて
- ごみ問題について

小林 信 議員 (10ページ)

- 都市計画マスタープランと中心市街地活性化のまちづくりについて

斉藤 晋一 議員 (11ページ)

- 館林市の市政運営と政策について

吉野 高史 議員 (11ページ)

- 館林市土地開発公社の解散から今日までについて
- 市長就任から2か月が経過したが、見えてきた多くの課題について

一般質問

今定例会における一般質問は、6月10日・11日の2日間にわたり行われ、10人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をただしました。

内容は広範にわたっており、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)

※一般質問通告書の質問事項を掲載

スマートフォンやタブレットからも視聴できます!

市議会のHPをぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html> 市議会トップページ➡



←ライブ&録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>

なお、各議員の質問の様子は、次のページからの「二次元コード」を読み取るとご覧いただけます。

会議録の検索はこちら➡

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。

※6月定例会の会議録は、9月上旬に掲載の予定です。





新型コロナウイルスワクチン接種の取組と公共施設のフリーWi-Fiの取組について

柴田 信議員



質問 65歳以上の市民に向けた新型コロナウイルスワクチン接種の取組について問う。

答 接種期間が同月21日以降の約1万2000人分の予約を開始しています。

質問 本市における65歳以上の市民の新型コロナウイルスワクチン接種対象者は約2万3000人で、接種期間が6月18日までの4840人の接種予約が完了し、

質問 今後の64歳以下の市民に向けた新型コロナウイルスワクチン接種の取組について問う。

答 本市における64歳以下12歳以上の市民の新型コロナウイルスワクチン接種



県立館林美術館との連携等について

渋谷 理津子 議員



県立館林美術館との連携について

「里沼」とのコラボや住民参加によるワークショップ

質問 開館20年目の県立館林美術館は、多額の建築費とランニングコストがかかっているが、その役割と本市との連携は。

答 本市の文化・芸術振興、地域活性化や交流人口の拠点と認識しています。

要望 ボランティアの方は、その道に詳しく、難解な芸術を親しみやすいものとして案内してくれる。また、市の施設と互いに入館割引券を発行するなどして、美

質問 田山花袋の動画が発見されたが、活用の考えは。

答 映像は大正13年のもので、所有者の郡山市では公開未定です。本市も花袋の映像を活用できるように関係者と協議していきたい。

質問 本市においては共通投票所を設置するのか。

答 システム構築の費用やシステム障害等のリスクなどが課題として挙げられるため、導入については、引き続き、研究していきたいと考えています。

質問 期日前投票が毎回増えているが、今後、運営はどのように行っていくのか。

答 期日前投票所は、市庁舎市民ホールのみですが、投票される方が多くなっている状況のため、スペースを拡張して、密を避けるよう検討しています。

要望 自己啓発を含め近隣自治体や県との人事交流による職員育成や、本市を客観的に捉えられる機会をつくるためにも国への派遣研修を検討するよう要望する。

本市職員の資質の向上について

質問 住民ニーズに対応した能力向上を図る研修はどのように行っているのか。

答 研修計画に基づき、接遇などの基礎からマネジメント研修、人事交流などで人材育成を図っています。

対象者は約4万6000人です。接種順位については、国の動向を注視するとともに、関係機関と連携し、市民に納得のいく接種順位及び接種方法を決定していきたいと考えています。

いは、FAXでの申込み方法を案内するとともに、手話通訳者がいる総合福祉センターの会場を案内しました。更に、各会場とも、車イスや杖を使用する方に配慮し、介助を担当する職員を配置しています。

サービスの向上に努めています。図書館については、月平均で約1850件の利用実績があります。公民館については、本年、市内全11館に導入しましたが、開設して間もないことから、月平均で約90件の利用となっております。

質問 障がいをお持ちの市民に向けた新型コロナウイルスワクチン接種の取組について問う。

質問 本市の公共施設におけるフリーWi-Fiの利用実績について問う。

答 本市の公共施設におけるフリーWi-Fiの設置は、平成28年から開始され、市民サービスや観光客への

答 視覚障がい者の方については、接種券を送付する封筒に点字シールを添付し、聴覚障がい者の方につ

答 本市の公共施設におけるフリーWi-Fiの設置は、平成28年から開始され、市民サービスや観光客への

公民館 Wi-Fi ご利用いただけます。

SSID「Tatebayashi FREE Wi-Fi」
※●には1から4までの数字が入ります。



福祉用具給付制度と図書館について

平井 玲子 議員



福祉用具給付制度

質問 日常生活用具給付事業の対象となる品目には、

どのようなものがあるのか、現状をお尋ねします。

答 視覚障がい者用は、音声式、いわゆるしゃべる体温計、しゃべる体重計など、また、聴覚障がい者用は、バイブレーター式目覚まし時計などがあります。

質問 音声付き血圧計を日常生活用具に加えてもらいたいという声はないか、現状をお尋ねします。

答 本市では、日常生活用具給付事業ではなく、自

助具等購入費補助事業において補助しています。

質問 身体障害者手帳を持

つまでに至らない難聴者への助成制度はありますか。

答 現在のところ、補助制度はありません。

要望 高齢期難聴者に対する補聴器購入費の助成を要望します。

図書館について



質問 書籍除菌機を導入する考えはありますか。

答 導入事例や情報を集めるなど、研究していきたいと考えています。

要望 国の地方創生臨時交付金が活用できると考えます。書籍除菌機の導入については要望とします。

質問 電子書籍サービスを導入する考えはありますか。

答 費用対効果、先行事例の情報収集などに努め、研究を続けていきたいと考えています。

要望 電子書籍サービスは新しい生活様式に合った図書館サービスです。地方創生臨時交付金を充てることできます。導入については要望とします。

質問 2年前に質問、要望しました読書通帳について、その後の経過をお尋ねします。

答 図書館や学校図書館をクラウド化してネットワークを結んだ後の施策として、引き続き研究していきたいと考えています。



教育行政（不登校児童生徒に対する）の課題と取組について

松本 隆志 議員



教育大綱の基本目的

質問 教育大綱の基本目的に込められた思いや課題について伺います。

答 核家族化やSNS普及など、環境が大きく変化するなか、家庭や地域の教育力により、子どもたちを健全に育むことが求められています。親の学ぶ機会

充実や子どもたちが地域社会へ参加しやすい環境づくり、ネット上のトラブルから子どもたちを守る取組が課題で、学校・地域・家庭の連携強化が重要です。

不登校児童生徒への取組

質問 不登校児童生徒数が増加するなか、心に不安を抱える子どもへの学校での

取組や、学校以外での居場所づくりについて伺います。

答 子どもを遠ざけている個々の原因に応じ、教育相談部会を中心に支援策を考へ、関係職員でチームをつくり対応しています。また、学校以外の新たな学び場として、ふれあい学級やROCKEET事業、民間のフリースクールと連携し、個別対応が可能な体制づくりを進めています。

質問 地域の教育力を生かした魅力ある学校運営とし

て、コミュニティ・スクールの取組について伺います。

答 来年度までに、全小・中学校に導入を進めます。目標やビジョンを保護者や地域住民と共有し、地域と一体となり、子どもたちを育む取組を推進しています。

質問 家庭での教育力を高める取組について伺います。

答 子育てに係る各種講座や相談事業、すくすくサポート隊の運営、また、県と連携し、親の学びプログラム等を実施しています。

質問 中学校を卒業後、進学や就職をしない青少年に対するアプローチや居場所づくりについて伺います。

答 個人情報保護に関わることから、積極的にアプローチはせず、家庭や本人から連絡を受けての対応が実情です。群馬県では自立支援、学習相談等の支援充実が図られており、連携して対応しています。

要望 相談を待つだけでなく、直接的サポートのできる仕組み構築を要望します。



市政運営と政策について

齊藤 貢一 議員



質問 市長は、市政に対しては、一人一人の意見を聴いて、リーダーシップを持って行動したいとのことだが、それはどのようなリーダーシップのかたちなのか。

答 調整型のリーダーシップで、問題解決型、現場主義を貫きたいと思います。

質問 クラス委員や生徒会の役員であれば、それもといてと思うが、市民の意見を大事にするという意味では、最大公約数の政策になりがちであり、また、市民への説明責任も常につきまといます。市民福祉にとつて、ベターではなくベストを指し、自ら組織に目標を示した上で、目標達成に向け

た行動を起こさせる力、目標を達成させる力を持つのが、市長としてのリーダーシップだと思っています。その上で、公約として、板倉町との合併推進をあげ、10万都市を目指すとしているが、10万都市のメリットについて伺います。

答 一つの考え方として、10万人規模の経済圏では、プラス成長率を確保するものの、10万人未満では、マナス成長になると言われています。

質問 板倉町と合併しても9万と少しにしかならず、また、これから少子高齢化により人口は減っていきます。20万の中核市なら権限移譲などのメリットがあるが、そもそも経済圏の話で、現在も館林市圏で18万人います。本市が目指すべきは、財政健全化を進めた上で、定住自立圏構想や都市間機能の補完を見直していくことです。その上で、合併に関し、板倉町の条件を「丸のみ」するとの報道

があったが、事実ですか。

答 市民の利益を重点に考えていますので、無条件で受け入れること、丸のみをすることはありません。

質問 公立館林厚生病院の全科目医療体制を目指すところがあるが、この内容や今後の経営体制をどのようにする考えなのか伺います。

答 まずは外来患者の受け入れ充実を目指し、病院内の優れた科目を伸ばしながら収支の黒字化や経営体力の強化に取り組みます。



「5つのチェンジ」とまちづくりについて

篠木 正明 議員



質問 市長は選挙で「対話・協働・行動」をスローガンに「5つのチェンジ」を公約にしましたが、「5つのチェンジ」で、どのようなまちを目指すのですか。

答 10年後、20年後を見据え、「対話・協働・行動」をモットーに、市民に寄り添い、本気で考え行動し、

「5つのチェンジ」とまちづくりについて

活力があり、暮らしやすいまちを目指したいと思っています。そして、指針として、「5つのチェンジ」を掲げています。

質問 具体的政策では、「給食費の無料化を目指します(第3子以降無料化からスタートします)」「高校生世代の入院費の無料化を目指す

します」とありますが、この2つは、予算化され実現しました。今後、どのような展開を考えていますか。

答 給食費の無料化や高校生世代の入院以外の無料化も財政を考えながら検討したいと思っています。

質問 群馬県地域医療構想では、太田・館林医療圏の病床数を削減する計画です。特に急性期病床は2028床から857床へと半減以下にする計画です。これでは地域医療を守れない

と、市長として国や県に意見を言うべきだと思いますが、どう考えていますか。

答 現状でも病床数が不足していることを考えると、この構想は全く理解できませんし、反対したいと思っています。病床削減は見直すべきと感じています。

質問 板倉町の町民アンケートでは、住民サービスが低下する場合、合併には反対が7割です。また、板倉町総合計画には「館林市との合併協議は、合併協議が

休止に至った理由に対し、新たな展望が見えない限り、再開しません」と書いてあります。この状況では、合併協議の再開は困難だと思えますが、どう再開させるのですか。

答 合併協議会の再開には、両市町の方針の相違という課題を解消できるか検証しながら、課題が解消できるとなった段階で、住民の意見も把握するなどして、手順を踏んで進めたいと考えています。



新型コロナウイルスワクチン接種 商店街の活性化・ごみ問題について

向井 誠議員



新型コロナウイルスワクチン接種について

質問 視覚障がい者の方への接種券等の対応は。

答 県視覚障害者福祉協会の要望を受け、点字により、コロナワクチン関係書類と表記して送付しました。

質問 64歳以下の予約、接種計画は。

答 7月1日号の広報で詳細をお知らせする予定で、接種が済んでいない65歳以上の方についても、希望により、予約が可能であることを伝えていきます。
質問 残る店舗の数は。
答 沿道事業者54件の動



都市計画マスタープランと 中心市街地活性化について

小林 信議員



実現のための具体策

質問 都市計画マスタープランが改定され、新しいまちづくりの方向性が示されたが、平成25年から令和3年までの中心市街地活性化基本計画の総括では、まちのにぎわい創出及び居住の促進は達成されず、人口も減少している。と述べてい

るが、年次の中間で、目標を達成できるのかについて全くふれていない。今回の計画でも実現への具体策が示されていません。
一つの部署だけでなく
答 まちなかににぎわいを持たせようと、目標として、平成24年のエリア内人口9398人を1万200

向は継続26件、駐車場3件、住宅6件、未定19件です。
質問 廃業により、店舗がなくなつた跡地利用は。

答 昼間の人口増のため商業施設のほか、業務系の施設など複合的な機能を誘導すべきと考えています。

質問 低未利用地が多く含まれる中で、どのようににぎわいをつくっていくのか。

答 これまで空き家、空き店舗を活用するリノベーションスクール、百年小麦ブランド委員会によるうど

0人と掲げました。結果的には8779人と、増加はおろか減少に至りました。

まちづくりは、一つの部署だけでできるものではなく、多くの関係部署が関わり住民の生活環境を守っていくものと考えています。

まちなか再生プロジェクト

質問 先ほど、まちづくりについては、一つの部署だけでできるものではないと答弁していますが、私は過去に一大プロジェクトをつくって、専門的に取り組むべ

んや菓子などの新商品開発、六斎市での農産物の販売等を行なってきましたが、この取組を商店沿線にも波及させ、歩行者空間の利活用により、ソフト面のにぎわいを創出していきたいと考えています。

ごみ削減に向けたリサイクル率の向上について

質問 宅配便を活用し、小型家電を回収する取組を導入する考えは。

答 廃小型家電の宅配回収につきましては、実施事

きと提案してきました。こうした組織体制について、どのように考えているのか。まちなか再生プロジェクトチームをつくり、まちなかに特化した部署をつくることは緊急の課題であります。

機構改革に準ずる

答 組織体制については、今年度、まちなかの都市再生として、都市計画・商業・住宅・公共交通・医療・福祉・教育などの複数の分野にまたがる施策を一体的に

業者との協定締結に向けて前向きに検討していきます。
質問 プラごみ収集の回数を増やす考えは。

答 収集費用が年間約3800万円かかること、また、中国のプラごみ輸入禁止措置により、処理量が飽和状態であるため、国内外の動向を踏まえながら総合的に検討していきます。



7月にオープンした
ごみゼロ館

取り組み、相互連携を強化していくことが不可欠と考えています。

提案のプロジェクトは機構改革に準ずるものと考えます。庁内で議論して、まちなか再生に向けた部署を構築できるように検討したいと考えています。



まちなかの商業施設跡地

市政運営と政策について



斉藤 晋一 議員

新市長に伺います

質問 対話、協働、行動について伺います。

対話を深め、市政運営に役立てたいと考えています。

答 広域連携・教育・医療・産業・協働のまちづくりを推進します。その指針が対話、協働、行動です。市民の要望をかなえることが満足につながります。市民のニーズを的確に把握し、

質問 近隣自治体との連携について伺います。

答 1市5町が人口18万人の経済圏となれば、企業の投資を得やすくなり活力向上につながります。この地域が一体となり経済を活性化するために、有効な広

域連携の在り方を模索し、さらに強固なものにしていきたいと考えています。

質問 公立幼稚園・保育園の子ども園化について伺います。

答 統廃合と集約化を進め、教育、保育の一体的な提供、量的拡大に取り組みべく、早期に子ども園化していきたいと考えています。

質問 学童保育の支援について伺います。

答 児童数減少を見据え、新築施設整備ではなく、子



吉野 高史 議員

本市土地開発公社の解散から今日まで 市長就任から2か月の課題等について

質問 開発公社解散から7年が経過したが、市民の負担になつている金額は。

不動産全て、地位及び権利の一切を承継しています。

答 令和2年度末時点、元金が23億5040万円、今年度の元金償還は1億8080万円となります。

質問 承継されたなかで、問題が発生した場合の議会への説明についてはどうか。

答 問題などが発生した場合の対応については、慎重・丁寧に行い、議会へは適宜説明していきます。

質問 解散した時に、引き継がれたものはなにか。

答 公社の所有していた

質問 現在問題となつてい

答 板倉町との合併を推

進めるために「板倉町の話」を丸のみする、給食費を無料化する」と新聞記事にあるが、そう言ったのか。

答 言葉足らずの説明で記者の皆さんにもご迷惑をかけ、心よりお詫びします。

質問 新聞に書いてあることは、全てうそということなのか。

答 私の表現不足から、誤解を招くことになり、大変申し訳ありませんでした。

質問 給食費を無料にすると言っていないとなれば、

答 私のできる範囲で、

質問 厚生病院の医療体制について、医師の増員目標

答 今後市民ニーズに合った医療サービスの提供に

取り組んでいきます。

質問 日本遺産「里沼」の活用について伺います。

答 里沼は市民の宝、宣伝効果を高める存在となっております。通年型の誘客を考えています。沼辺文化を広く発信し、交流人口の増加、経済活性化につなげます。

質問 変化対応サービス業について伺います。

答 市役所は市最大の変化対応サービス業であるべきです。また、総合商社という観点から、組織や意識の改革に邁進していきます。

質問 うそをついた市長と言われてしまいませんか。

答 私の言葉が足りなかったと深く反省しています。

質問 厚生病院の医療体制について、医師の増員目標

答 今後市民ニーズに合った医療サービスの提供に

取り組んでいきます。

質問 給食費を無料にすると言っていないとなれば、

答 私の表現不足から、誤解を招くことになり、大変申し訳ありませんでした。

質問 給食費を無料にすると言っていないとなれば、

答 私の表現不足から、誤解を招くことになり、大変申し訳ありませんでした。

質問 給食費を無料にすると言っていないとなれば、

答 私の表現不足から、誤解を招くことになり、大変申し訳ありませんでした。

質問 給食費を無料にすると言っていないとなれば、

答 私の表現不足から、誤解を招くことになり、大変申し訳ありませんでした。

質問 給食費を無料にすると言っていないとなれば、

答 私の表現不足から、誤解を招くことになり、大変申し訳ありませんでした。

質問 給食費を無料にすると言っていないとなれば、

答 私の表現不足から、誤解を招くことになり、大変申し訳ありませんでした。



公立館林厚生病院



齊藤貢一 議員

全国市議会議長会から
永年在職議員として
表彰を受けました
齊藤貢一議員（10年間）

長年にわたり地方自治の伸張発展と市政の向上
振興に貢献された功績により、このたび、全国市議
会議長会から表彰を受けました。
これに伴い、6月4日、定例会開会冒頭の本会議
場において、その伝達式を行いました。

議会傍聴者の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、傍聴に来られる皆さまにおかれましては、マスクの着用や傍聴席入口において、消毒液による手指の消毒など、感染防止対策にご協力をお願いいたします。

【9月定例会の予定】

- 9月 3日(金) 本会議【会期の決定、議案提案説明など】
- 6日(月) 本会議【議案に対する質疑、委員会付託など】
- 7日(火)・ 8日(水) 本会議【一般質問】
- 9日(木)・10日(金) 委員会【常任委員会】
- 13日(月)・14日(火)・15日(水) 委員会【決算特別委員会】
- 22日(水) 本会議【表決】



☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。

☆一般質問の通告順位表は、9月1日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。

(<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒ ページ下部の市議会をクリックしてお入りください。)

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法により、議員が選挙区内にある者に対し、暑中見舞い状等の時候の挨拶状を出すことや新盆等に線香などのお供え物をする事は禁止されています。

今後とも、一層倫理の確立に努めてまいりますので、市民の皆様のご理解の程
よろしくお願い申し上げます。

